

# かがやき

No. 64  
2022年



• 新年のごあいさつ

• 健康かんり  
春をつける花



医療法人 新仁会

奈良春日病院





# あけましておめでとうございます

昨年はコロナで明けコロナで暮れた感がありますが、やっと患者数も減少傾向になり、長いトンネルの出口が見えてきたと期待したのもつかの間、新たな変異株の出現でまだまだ気を許せません。



当院では患者様、職員のワクチン接種が完了し、面会はリモート中心に、さらに全館に抗ウイルス、抗菌コーティングを行うなどコロナ感染防止に人一倍力を入れてきました。幸いこれまで院内感染はなく、皆様方のご理解、ご協力に感謝申し上げます。今後も細心の注意を払いながら医療、看護、介護に努めていきたいと思っています。

今年は寅年ですが、虎は、その模様から夜空に輝く星に例えられ、【決断力と才知】の象徴とされています。治療薬の実用化などコロナ対策もさらに一歩進め、この【決断力と才知】で何とか乗り越えていきたいものです。

さて当院は昨年10月から地域包括ケア病床を7床から15床に増床しました。この病床は急性期治療を経過し、病状が安定してきた患者様に対し在宅や介護施設への復帰に向けた支援を行う橋渡しの病床です。ご自宅や施設で安心して生活していただけるようリハビリを精力的に行っています。

当院には亜急性期から慢性期まで対応できる多種の病棟、そして高齢者施設と同等の機能を持つ介護医療院も備えています。患者様の状態に応じ適切に治療、看護、介護が可能です。

これからも患者様、ご家族様の様々なニーズにおこたえできるよう職員一同頑張る所存です。本年も奈良春日病院をよろしく願いいたします。

医療法人 新仁会 奈良春日病院  
院長 塚口 勝彦



# 謹賀新年



### 早春をつげる花 臘梅 のご紹介

臘梅（ろうばい）は、12月～2月の冬から春にかけて、半透明でにぶいツヤのある黄色く香り高い花が咲きます。分類は、梅科ではなくロウバイ科で2mから4mほどになる落葉低木です。

また、雪中四友（せっちゅうしゆう）と呼ばれる雪の中で咲く4つの花のひとつです。雪中四友には、「臘梅」・「梅」・「山茶花」・「水仙」があり、“四花”と言わずに“四友”というのがなんとも素敵表現だと思います。

和名の「臘梅」は、半透明で、にぶいツヤのある花びらがまるで蠟細工の様なことからつけられました。また、臘月（ろうげつ、旧暦12月）に花を咲かせることに由来するともいわれます。



花言葉には、「先導」「先見」「ゆかしさ」「慈しみ」「慈愛」「愛情」があります。花言葉の由来は、次のように言われています。

一足先に早春を知らせることから「先導」「先見」がつけられ、また、凍えるような寒さの中に咲きながらも、人々の心を温かく照らす色合いを持つひかえめで奥ゆかしい姿から、「ゆかしさ」「慈しみ」の花言葉が、心にやさしく寄り添ってくれるような花やよい香りであることから、「慈愛」「愛情」の花言葉になったのかもしれない。

臘梅のよい香りにときめきながら、たくさんの植物が芽吹く季節を迎えましょう。



## 交通アクセス



**奈良春日病院 送迎マイクロバス**  
JR奈良駅東口・近鉄奈良駅より  
送迎マイクロバスで約10~15分

**奈良交通バスで来院される方**  
JR奈良駅東口・近鉄奈良駅より  
約10~15分

**タクシーで来院される方**  
JR奈良駅東口・近鉄奈良駅より  
約4Km・タクシーで約10~15分

**自動車で来院される方**  
ご来院の方は外来駐車場を  
ご利用ください。

## 関連施設

医療法人  
新仁会 **奈良春日病院**  
☆ 地域医療連携室  
☆ 居宅介護支援事業所

〒630-8425 奈良市鹿野園町1212-1  
電話：0742-24-4771

医療法人  
新仁会 **奈良春日病院  
介護医療院**  
(奈良春日病院内)

〒630-8425 奈良市鹿野園町1212-1  
電話：0742-24-4771

**訪問看護ステーションこまどり**  
(奈良春日病院内)

〒630-8425 奈良市鹿野園町1212-1  
電話：0742-23-6599

**通所リハビリテーション**  
(奈良春日病院内)

〒630-8425 奈良市鹿野園町1212-1  
電話：0742-20-5570

**春日グループホーム雪・月・花**

〒630-8302 奈良市白毫寺町900-1  
電話：0742-20-7227